

「学び」のスタイルがドラスティブクに変わる 教育機関向け動画配信システム開発事業

動画共有サービス「YouTube」感覚で大学教育を一新



大学の授業は「講義」という名の通り、主に先生の「ひとり語り」で行われる。積極的に学びたい学生はいいとしても、長時間のワンマンショーでは飽きてしまうこともあるだろう。しかし、時代の趨勢か、学校側の取り組みとして「動画配信」に関する需要が年々増加しているという。そんな折、「VERSION2」では、大学などで利用できる動画配信システムを構築。教育機関のeラーニングシステムで培った実績を生かし、学校のニーズを的確に把握した新たな仕組みで教育の現場を大きく変えつつある。

開発 動機

「動画配信には既存のWebサービスを使用している学校もあったのですが、コンテンツの性質や著作権の問題などがありまして。大学内だけで安全に使用できるシステムが欲しいという需要はあったんですよ」と大西社長。類似するシステムは他にもあったが、かなり高価だったという。大学に特化させ、カスタマイズが可能なら、安価で提供することはできないか。これがすべての始まりだった。時に、文部科学省が「学生の学習時間の確保」や「学生による自主的学び」などの取り組みに力を入れ始めた時期。それは動画学習時代の黎明期とも言える。技術はすでにある、あとは開発、完成を目指すだけだった。



実施 内容

開発に際して技術部の細川リーダーは「最初はずいぶんとムチャ振りを…」と思いましたが、「実際に開発を始めると、公開されている技術も年々増えていましたし、ブラウザの進化などもあって思ったほど苦労はありませんでした」。基本的な運用としては、システムを大学のネットワーク上に置き、教員や担当者などが動画コンテンツを管理。これによって学習する側は動画視聴が可能になる仕組みだ。動画ダウンロードの制御、大量コンテンツの集積、権限設定・カテゴリ設定によるアクセス制御、視聴履歴データの取得など、特長は多彩。システム名は「映像の蔵」であることから「えいくら」というネーミングになった。

事業 成果

一般企業のシステムとは違い、大学の場合は先生、学生、クラス、カリキュラムやコースという区分けが必要。そして、何より簡便であることが求められる。それらは十分に満たすことができ、導入に関する引き合いが多数あったとか。そのうちの1件、道外の教育関連機関ですでに導入を済ませている。大西社長は言う「簡単に言うと『YouTube』ですね。でも、それ以上の機能を提供できています」。スマートフォン、タブレットでもアクセス可能。クローズ環境の中でのシステムなので、セキュリティ対策も安心。もちろん、カスタマイズからサポート、保守まですべてワンストップで行えるのも大きな強みだ。

今後の 展望

現在の方針としては「国内すべての大学に製品を導入する」という計画で営業活動を行っている「VERSION2」。既存の取引先をはじめ、未開拓の約830校に対してのアプローチを随時実行する計画も。画一的なパッケージ販売ではなく、好評を得てきたコンサルティング販売が力を発揮するだろう。また、「えいくら」単体ではなく、自社オリジナルのeラーニングシステムとの連携でさらに機能を拡張することも難しくはないという。企業の社員教育や生涯学習のサポートなどに応用できれば、様々なシーンで触れる機会が増えるのかも知れない。次に開発されるシステムはどんなバージョンになるのか、札幌から全国へ向けての助走はもうできている。

革新ポイント！

クラウドサービスに依存しがちな仕組みを
学内のネットワークに置くことで利便性と安全性を確立



動画配信の導入で大きく変わる大学教育の講義・現場。



本システムの開発責任者でもある技術部の細川リーダー。



次代の手がかり 代表取締役 CEO 大西昭夫

教育機関への動画配信システムには興味があったものの、開発する際に利用するソフトウェアは大変高額なもので、自社の予算では手が届きにくい状況でした。いくらスタッフのモチベーションが高くても、予算が無くては空回りするばかり。そんな時、総務社員が弊社に該当する助成制度を調査し「ものづくり補助金」と巡り会います。今回、開発したシステムを実現化したいと考えていたタイミングと合い応募、採択される運びとなりました。今後もアイデアを形に出来るようこびを胸に、新事業に取り組みたいと思っています。



バージョン 株式会社VERSION2

代表者名 代表取締役 CEO 大西昭夫
設立 平成19年
資本金 2,000万円
従業員数 20名
事業内容 Glexaの開発・運用、オープンソースシステムのカスタマイズ・運用、Webシステムの開発・運用、コンピューター・ネットワーク機器の構築・販売、教育および研究に関するコンサルティング
住 所 札幌市中央区大通西 6 丁目10-1 大通西 6 ビル 4 階
電 話 011-252-0120 FAX 011-252-0121
U R L <http://ver2.jp/>

